

2012年度 麻しん風しん予防接種の対象等
【定期予防接種】(国の制度＝対象年齢の方は接種可)
第1期 1歳児
第2期 年長児
第3期(※) 中学1年生
第4期(※) 高校3年生

【フォロー予防接種】(町田市独自制度＝対象者の方で条件を満たしている方のみ接種可)
第1期 2歳児～年中児
第2期 小学1～6年生
第3期 中学2・3年生、高校1・2年生
第4期 高校卒業後1年目

※第3期と第4期は、2008～2012年度まで5年間の実施です。

公開している会議 傍聴のご案内

会議名 日時 会場 定員 申し込み
保育料等の在り方検討委員会 7月25日(水) 午前10時～正午 市役所本庁舎10階会議室10-3 3人(申し込み順) 7月23日までに電話でイベントダイヤル(☎724-5656)へ

予防接種を受けましょう
市内で、麻しん(はしか)が乳幼児から成人まで断続的に発生しています。麻しんは1回の予防接種だけではかかる可能性があり、2回接種する必要があります。

ご案内
医療機関(診療時間内)
※母子手帳をお持ち下さい。
健康課 ☎725・5422
FAX 725・5198

家庭的保育者
募集します
保護者が就業しているなどの理由で家庭で保育できない保護者に代わって、生後8週間以上3歳未満の児童3人(補助者がいる場合は5人)を居宅等で預かって保育しませ

8月の母子健康案内 お気軽にご相談下さい
健康課 ☎725・5422 FAX725・5198
事業名 会場 開催日 時間 対象 内容
もうすぐママ・パパのためのふれびよクラス(母親学級) - 3日間コース(申し込み制) 健康福祉会館 3日(金) 午後1時30分～4時 16～35週の妊婦とその夫 1日目 妊娠中の過ごし方、歯の衛生、栄養と食生活のときのリラクセス法
2日目 母乳のお話、お産の体験、新生児の保育
3日目 もく浴実習、妊婦体験、新生児の保育

健康づくり
食中毒にご用心
夏です!
夏です!
夏です!
夏です!

「肉の衛生管理のポイント」
カンピロバクター、腸管出血性大腸菌、サルモネラなど
「魚の衛生管理のポイント」
海水中の腸炎ヒストリオンが付いていることがあります。この菌は、適度な塩分と夏の暑さのために短時間で爆発的に増加し、食中毒を引き起こす。鮮魚や刺身、握り寿司などから使用しましょう。

「夏野菜たっぷりパエリアをつくろう」
町田市内在住の5歳～小学2年生とその保護者
8月22日(水) 午前9時30分～午後1時
健康課 ☎725・5178
FAX 725・5198

「卵の衛生管理のポイント」
まれにサルモネラに汚染されたものがあります。涼しいところに陳列している店で、ひび割れや汚れないものを選びましょう。購入したものは、冷蔵庫で保存し、割った卵はすぐに使いましょう。よく加熱することも重要です。生卵が入った料理は、その都度食べきるようにしましょう。

新しいごみの資源化施設の施設内容と建設候補地についての検討案がまとまりました

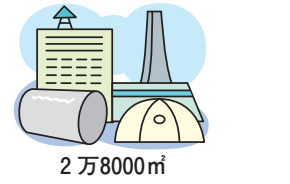
ご意見を募集します
町田市資源循環型施設整備基本計画検討委員会(事務局:循環型施設整備課) ☎724-4384 FAX050-3160-5479

使用開始から30年が経過し、老朽化が進んでいる焼却施設の建て替えに合わせ、ごみの資源化施設等の2020年度稼働を目指して、町田市資源循環型施設整備基本計画検討委員会を設置し、どのような施設を、市内のどこに建設するかについて、各専門の部会で検討を進めています。今年2月～3月に行った市民の皆さんとの意見交換会や、意見募集により頂いたご意見を踏まえ、検討委員会で施設の施設内容と建設候補地についての検討案をまとめました。

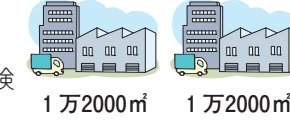
施設の内容(案)

3つの候補地から、バイオガス化施設・熱回収施設等(基準面積2万8000㎡)を1か所、12か所の候補地から資源ごみ処理施設(基準面積1万2000㎡)を2か所に分散化して建設することを基本とします。

- バイオガス化施設・熱回収施設等
・焼却施設
・不燃・粗大ごみ処理施設
・バイオガス化施設
※エネルギーは有効利用します。



- 資源ごみ処理施設
・ビン選別処理施設
・カン選別処理施設
・ペットボトル圧縮梱包施設
・プラスチック圧縮梱包施設
・トレイ・紙パック貯留場所
・有害ごみ貯留場所
※施設の付加機能についても検討しています。



環境保全の考え方

- 市民の健康と安全を守るために、ごみの資源化施設の運営にあたっては、次の3つの点を遵守します。「2」、「3」については周辺住民の皆さんと協議して設定します。
1. 「自主規制値」を設定します
法的な規制値よりも厳しい自主規制値を設定し、この値を超えないように操業します。
2. 「運転管理目標値」を設定します
環境負荷をより低減するため、自主規制値を超えない運転管理の目標となる値を設けます。
3. 安心できる約束・仕組みを作ります
災害やその他の原因によって、万一問題が発生した場合の対応等、近隣にお住まいの皆さんが安心できる約束を作ります。

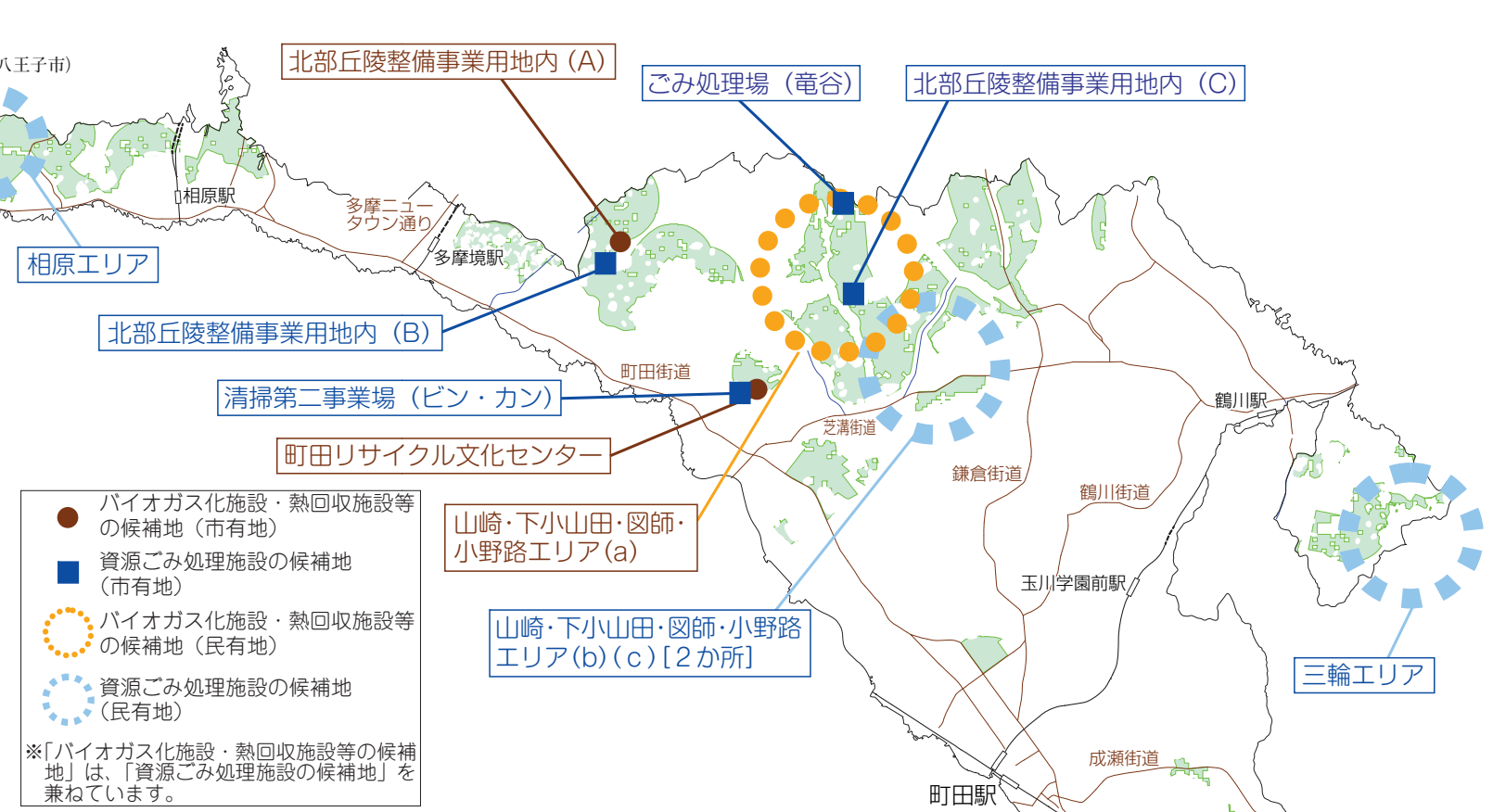
建設候補地について(案)

施設をどこに建設すべきなのか、右下の「建設候補地選定の流れ」のとおり、客観的な評価項目に基づき段階的に絞り込みを行います。これまで実施した一次選定、二次選定では、物理的・法的に建設可能な箇所を選定しました。これから行う三次選定では、選定した箇所(右地図を参照)を下記の評価項目配点表に基づき点数化し、建設にふさわしい場所の優先順位を示します。市は、この結果をもとに、2013年3月ごろに建設候補地を決定する予定です。

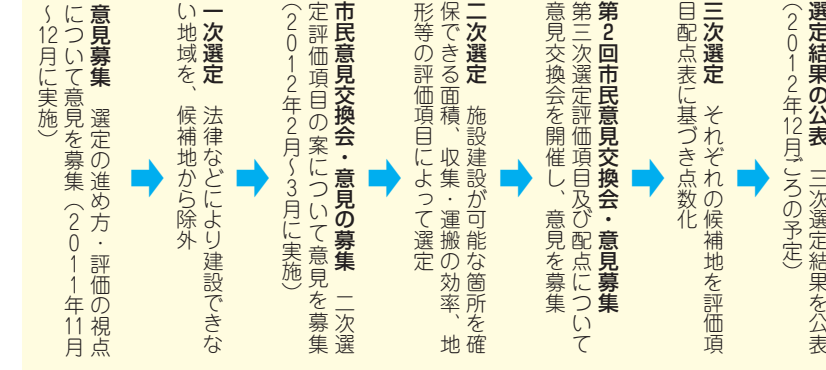
評価項目配点表(案)

Table with 4 columns: Evaluation Item, Bio-gasification/Heat Recovery, Resource Waste Treatment, and Points. Rows include functional/maintenance, environment, land use, economic, and facility dispersion.

三次選定の候補地



建設候補地選定の流れ



第2回市民意見交換会を行います

時間は2時間程度を予定しています。直接会場へおいで下さい。
定 鶴川市民センター＝50人、それ以外＝100人(いずれも先着順)

Table with 2 columns: Date/Time and Venue. Lists dates from 7/26 to 8/1 and venues like city hall and recycling centers.

ご意見を募集します

募集するテーマ 検討しているエネルギーの有効活用について(CNG車の燃料、都市ガス、発電等)、施設に必要な付加機能(防災拠点機能・資源化推進活動拠点等)、建設候補地三次選定の評価項目・配点案について
※検討案の詳細についてまとめた資料は、7月26日から循環型施設整備課(市役所本庁舎7階)、町田リサイクル文化センター、各市民センター、各市立図書館で配布します(町田市ホームページで閲覧も可)。また、市民意見交換会の会場でも配布します。
募集期間 7月26日～8月10日
提出方法 直接、郵送、FAXまたはEメールで循環型施設整備課(〒194-8520、森野2-2-22、☎724-4384 FAX050-3160-5479 mcity1010@city.machida.tokyo.jp)へ。市民意見交換会の会場でも提出できます。
【注意事項】
○書式は自由です。
○募集するテーマについてのご意見・住所・氏名をご記入下さい。
○電話、窓口での口頭によるご意見はお受けできません。
○提出いただいたご意見は委員会の中で公表し、選定に向けた検討資料に反映します。
○個別回答はできません。

＜現在までの検討の流れと今後の予定＞

Table with 2 columns: Date and Event. Shows the timeline from 2011 to 2013, including plan development, public consultation, and final decisions.